

本を選ぶ

高校図書館版

NO.43 2007年(平成19年)5月10日
<http://www.las2005.com>

●発行/ライブラリー・アド・サービス
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 5-20-5-504 TEL:03-3235-6168

ぶつく・えんど

学問の深淵

一昨年の夏以来、私は友人と二人で、月に二、三回であるが、様々な本をテキストにして読書会を行っている。

我が国の古辞書の中、重要なもののひとつに「類聚名義抄」がある。それにまつわる国語学の研究書、岡田希雄著『類聚名義抄の研究 手沢訂正本』(勉誠出版)が或る日のテキストであった。この本は、「類聚名義抄」研究の関連では必ず引用されるものである。その日の報告者であった友人は、岡田氏が、自らの論文の抜刷の扉に自筆している小文をおもむろに読み始めた。

研究に疲労を覚えし時は、

是を読み刺激を受けよ。

興奮せよ。

ところが、読み始めてすぐに涙声となり、話は中断してしまった。

しばしあって、彼は、岡田氏が「類聚名義抄」を熱心に研究し、関連の論稿を書き続ける中、病に倒れ四十六歳で亡くなったこと、闘病中も論文執筆に情熱を燃やし続けたこと、彼が遺した一連の論稿を重要なものと考えた恩師や研究仲間、それと、友人、家族等の手により、昭和十九年という戦時の難しい時節であったにもかかわらず、それらの一部が遺稿集として一冊にまとめられ刊行されたことなどを、熱く語った。

友人自身、六十代半ばになった今も、文学創作

に情熱を燃やし続けており、「学び」の精神も人一倍持ち合わせている実直な人物である。その彼が、岡田氏の命がけて研究に向かう姿、すさまじいまでの研究者魂に触れ、「学問というのは本当に奥深いものですね。何でも、大事を為す時は命がけてやらなくては。半端な事じゃいけないとつくづく思いました。」としみじみ語った。

岡田氏の人となりについて、師である藤井乙男氏(国文学)が、京都の一条書房より出版された前述の遺稿集(『類聚名義抄の研究』)に次のように記している。

「君の好学は殆どその天性ともいえるべく、日常の談話も学問以外にいざることなく、病篤くして腰痛烈しく、杖をついて漸く厠に上った頃でさえ、なお論文の筆を絶たなかった。さればと云って全然学究的な無味乾燥な人ではなかった。浮世絵を愛し、小説戯曲を好み、草花を楽しみ、一陶の酒に鬱屈を散じたのである。」

本には、文章を書いた当人の意志に基づき出版されるものもあるが、他者が「この文章は世に出す必要がある。何としても世に出さなくては。」と切に願い出版されるものがある。岡田氏の本は後者の典型であると言えよう。

一片の文章が、読んだ人に深い感銘を与え大きな影響を及ぼすことがある。時には、読み手の人生を変えてしまったりすることさえある。

ちょっとした出来事であったが、その日の読書会は、私達にとっては、大切なことを気づかせてくれたかけがえのないひと時であった。

(村山道宣：編集者)

初めての利用指導

—手応えはあったけれど、まだまだ手探り—

木下 通子

ふってわいた利用指導

今年度、我が校に「情報」の専科の先生が来ました。去年まで連携していたS先生は数学の先生。女同士ということもあって、お互い相談しながら、授業を組み立てて行くことができました。春休みに入手した新しい先生の情報は、男性。前任校では陸上部顧問。専門に教えていたのはCADというソフトを使ったデザイン。う～ん。果たして、図書館を使って授業をしてもらうことができるだろうか。それが春休みの一番の関心事でした。

4月2日の準備出勤の日、初めてお会いしたT先生は、いかにもスポーツマンという感じのはつらつとした先生。「昨年は、図書館を授業で使ってもらっていたので、今年もよろしくお願いします」と挨拶すると、「S先生から聞いています。こちらこそ」と挨拶されて連携がはじまりました。

情報の時間の1時間目を使って行っている新入生オリエンテーションの話をしに行ったら、「二年生にも、オリエンテーションをしてもらえませんか?」と言われました。S先生の作った、二年生のシラバスを見せてもらってびっくり。「情報とは何か」という導入からはじまって、情報収集の仕方を学んでいく過程で、「新聞記事の読み方」「アンケートの取り方」などと共に、「図書館での情報検索」という項目がありました。これは、S先生からの木下なら引き受けるという吹き込みがあったからのようでした。実は、私は利用指導的な、いわゆる2時間目のオリエンテーションをやるのは初体験。

何をどう進めていくか

二年生の授業で頼まれたのは、まさに「利用指導」。それと平行して、一年生の図書館オリエンテーションも行います。一年生9クラス、二年生8クラス、合計17時間をこなさなくてはいけません。まず、悩んだのは1時間、65分で何をやるかで

した。ところが、ここでもまた、素敵な出会いがあったのです。

3月21日に学校図書館問題研究会主催の「ヤングアダルト本対談」があり、対談者として、金原瑞人さんと赤木かん子さんをお招きしていました。ふだんは子どもの世話のため休日に家をあげられない私も、対談のお二人と、司会をお願いした自由の森学園の大江さんとも知り合いだったため、当日は裏方のお手伝いをさせていただきました。そこで、10何年振りに、赤木かん子さんと再会したのです。

私がまだ駆け出しの司書だった頃、かん子さんは「本の探偵」として売り出し中でした。お互いに若かったこともあり、意気投合。かん子さんの本の出版パーティーに遊びに行ったり、前任校に遊びに来てもらったり、個人的な交流もあったのです。しばらくぶりに会ったかん子さんは、当時よりぐっと落ちついていて、印象が変わっていました。その会場で、『しらべる力を育てる授業!』（赤木かん子 塩谷京子著、ポプラ社）を購入。その本に出ていた「木簡」「巻物」「折り本」「和綴じ本」セット5000円を、何かの時に使えそうと注文しました。

二年生の利用指導に、このグッズを使わない手はない!そこで、かん子さんの『しらべる力を育てる授業!』と『調べ学習の基礎の基礎』をベースに、内容を組み立てることにしました。

いよいよ本番

二年生は総合学習で、レポートを書かなくてはいけなくなるので、「本の成り立ち」「参考文献の書き方」「奥付についての説明」「引用の仕方」「分離番号について」の五つを説明することにしました。説明を聞いているだけだと飽きてしまうので、演習も入れて下さいとT先生にも言われ、奥付を見て書誌事項を書くというのと、参考文献の書き

10年経って、生徒との図書館意識と司書の関わり

もろろ 菊池

宮崎 健太郎

と、そのころは司書の関わりが深かった。司書の関わりが深かった。

方、引用の仕方の演習を入れました。

「昔、昔、私が原始人だった頃」…と、笑いをとりながら本が今の形になるまでを説明。その後、奥付に書かれている項目の意味を一つ一つ解説して、書誌事項を書いてもらいました。例題としてあげた本は、『さおだけ屋はなぜ潰れないのか』（山田真哉 著 光文社）です。奥付は、責任表示であること、江戸時代から始まったことなどを話しました。生徒が熱心に聞いたのは、版と刷の違い、ISBNコードの意味などです。

「ベストセラーってどれくらい出版されたら言われるのか知ってる？この本は151万部も発行されているんだって（2007年4月現在）」と『さおだけ屋…』を例にあげて話を進めます。『さおだけ屋…』は、我が校でもよく借りられたので、複本で2冊購入していて、6刷りと32刷りのものがありました。初版が2005年2月。6刷りが2005年4月でした。では、2006年10月に発行されたこの本は？「なんと、32刷りです！」生徒に問いかけながら、版と刷の違いを説明していきました。

刷と版の違いとあわせて興味を持たれたのが、ISBNコードの意味です。ふだんよく目に見える数字にこんな意味があったのか！という感じで、私が板書した解説を熱心にメモしてくれました。奥付の説明が終わったら、参考文献の書き方を説明し、実習してもらいました。

利用指導をやってみて

図書館で、利用指導をしなければならないかなという気持ちは、「情報」と連携を始めてから常に感じていました。でも、司書が利用指導をするということにためらいもありました。いざという時のために、全国SLAやリブリオ出版から出版されている利用指導関連のテキストも何冊か読んでいたのですが、書き手はほとんどが教師。司書と教

師と立ち位置が違うような気がして、しっくり来

ませんでした。

そして、私の中に、学校図書館のような見渡せば本がわかってしまうような小さな図書館では、書架表示をきちんとおけば、分類番号のしくみをくわしく教える必要はないのではないかという思いがありました。

ところが今回、司書の立場で書かれた本と出会い、授業を行ってみて、分類番号のしくみを知っていることは、資料を探すことやレポートのテーマを考えるときにとても役に立つことを実感しました。そして、うちの学校の生徒はそれを求めているのです。

分類の説明は、『情報航海術』（片岡剛夫 著 リブリオ出版）を参考に行いました。分類番号は本の主題によってつけられているというのを『情報航海術』50ページの「犬」を学ぶを参考にアレンジして説明しました。かん子さんの本にも出ていたのですが、テーマを掘り下げていくときに、体系的に物事を考えていくとスムーズに事が運びます。それには、NDCが役に立つのです。最初のクラスは実習をせずに、説明だけで終わらせていたのですが、次のクラスからは本のタイトルから分類番号を推理して本を探し出すという演習を行いました。二人一組で本を探してもらい、その本の奥付をみて書誌事項と分類番号を書くという演習をしてもらったのですが、生徒はとても楽しかったようです。この作業は10分くらいでできました。

利用指導については、まだまだ手探り状態。私の心もまだ、もやもやしているのです。ただ、総合学習の調べものに来る生徒が分類番号を意識したりして、明らかに変化が出てきています。こちらがびっくりするくらい。この後、図書館の動きがどう変わっていくのか、また、次回、ご報告します。

（きのした みちこ：埼玉県立春日部東高校司書）

大学図書館から中・高図書館へ

佐藤 みなみ

長年勤務した短期大学が閉学することになった。そう決まってからの2年間で、ほぼ全教員が新たな研究、或いは教育活動の場を得て去って行った。司書であった私を含む事務職員は、ある者は企業に就職し、ある者は家族の介護に専念するなど、閉学後の道は様々であった。

最後の1年は、学生が一学年となり、教職員の数も減った。ずっと司書二人だった図書館の人員体制も、私一人になった。集書方針をその年限りの利用に供するものとし、継続中の叢書や雑誌もほとんど停止となった。継続受入、保存、蔵書構成の構築など図書館なら当たり前と思ってきた事が、もはや必要ではなかった。図書館関係団体もすべて退会、最終号の研究紀要には、閉学の挨拶を添えて発送した。毎日、学校を閉じていくための手続きを進めながらも、最後の学生たちの学習・研究を可能な限り支援し、無事に卒業してもらうことが、私にとっての最後の任務だと心に強く思っていた。

そして、もうひとつ、重大な任務があった。それは約4万冊の蔵書の処分だった。スケジュールもかなり厳しかったが、多くの資料が新たな場で活かされ、できれば公共性の高い場で活用されることを願った。

しかし、図書の行き先を探すのは、とても困難な事だった。近隣の公共図書館、その他の公共施設には、全て断られた。大学図書館も同様。それでも、1冊でも多く活かしたいという、私の思いを汲んだ司書仲間や、退職した教員たちの尽力で、かなりの量が図書館に引き取られることになった。個人への譲渡も、教職員、卒業生、その他と徐々に広げていったが、結局、約2万冊の行き先は決まらなかった。

2月の後期試験が終了すると、図書の引き取り、発送作業が始まった。最終日、トラックが何台もやって来て、引き取り手の無い本が積まれて行った。思った以上に量が多く、最後に手配されて来たのは、なんとゴミ収集車で、蔵書は呆気なく呑み込まれていった。哀しい光景であった。その後、かつての配

架の様子が度々夢に現れ、その度にもっと引き取ってくれる人がいたはず…と、悔やまれた。

私は、短大閉学後、中・高一貫校の図書館で司書が続けている。採用の際の面接試験で、奉仕対象が違っても、基本的な図書館サービスは変わらないと断言した。確かに理念は変わらない。しかし、実際には利用者が変わると、図書館の運営もこんなに違うのかと驚くことばかりだった。

かつての短大図書館も小規模でありながら、一人当たりの年間帯出冊数が10冊以上で、大学図書館としてはかなり多い方だった。しかし、今や毎日、貸し出しと返却で合わせて300冊以上の本が動く。購入冊数も多い。新刊本が多い。クエストも予約もたくさんある。

また、中学生はちょっと調子に乗って本を読み過ぎると成績にも響く、保護者の苦情も届く、不注意で本を汚すこともある、館内のマナーも未熟。そんな中学生のために、例えば貸し出し冊数について丁寧に検討し試行錯誤を重ねる。入学時のオリエンテーションも、利用指導の大切な機会と位置づけ、効果をあげている。

着任当時は、中・高生に人気のライトノベルやファンタジーにも、アニメにも、音楽にも疎かった。だいぶ、理解できるようになったが、まだまだ。頼りになるのは、同僚の司書たち。生徒が好きな本も、司書として生徒に読んでもらいたい本も、どんどん新しいものが出るし、いつも追いかけているようだ。こういう感覚は、短大図書館では味わったことが無かった。

最近、年頭の挨拶に必ず、本をもっとたくさん読みたいと記している。本当にそう思う。生徒たちの読書活動も理解したいし、自分自身おもしろい本に出会い、静かな深い感動に浸りたい。たくさんの図書に囲まれ、生徒たちの旺盛な読書活動に関わる毎日を送りながら、読書意欲をしきりにかきたてられている。(さとう みなみ：学校図書館司書)

10年経って、生徒との年齢差を意識

宮崎 健太郎

先日、卒業生の結婚式に呼ばれ、秩父まで行ってきました。就職したての頃にいろいろと相談しながら一緒に図書館を作っていた、私にとっては同士のような彼女も卒業して六年目。平均年齢の高い職場だった前任校では、同僚の先生方より生徒のほうがずっと年が近かったんですね。

姑息？ ポイントカード導入！

勤務校でこの春新たに始めたこと、それは貸出「ポイント制」の導入です。といっても、特典は5ポイント（貸出5回）でパウチ加工した「ゴールドカード」の進呈だけ。ところがこんな子どもだましの（失礼！）サービスが思いがけず一年生男子を中心に大ヒット！ 毎日のように本を借りる生徒も続出し、さながら「ポイントバブル」の毎日です。一時的かもしれませんが、4月の一年生の貸出利用率は昨年までの1.5倍の28%！ リピーターがグッと増え、貸出数は毎日80冊（昨年度の平均は1日20冊）を超えています。

実はこれ、棚からはた餅のアイデアです。

昨年度の終わり頃、卒業直前にレポートで初めて図書館にやってきた三年生が口を揃えていいます、「私も本借りられるの？」。図書館に普段来ない生徒たちは、自分が図書館の利用者として登録されているとは思ってなかったんですね。あなたも利用者として登録されているよ、と目に見える形で伝える必要に気づかされました。そこで、小道具として利用者カードを全生徒・非常勤含む全職員に発行することにしました。

予算はないのでカードは名刺シートで作成しました。すぐにボロボロにされてしまいそうだったので、カードを何度も利用してくれる生徒にはパウチ加工をしてあげようと、カードの裏にスタンプ欄を設けたのが「ポイント制」のきっかけ。特典がショボイのもそれが理由です。

それにしても、こんなに効果が上がるとは全く予想していませんでした。小道具一つでこんなに生徒は図書館に目が向くんですね。

姑息といわれれば姑息かもしれないけど、使ってもらってナンボの図書館。1年のスタートで図書館利用が日常になっていけば、この後も図書館に目が向きやすくなるはず。この間に本の紹介や展示、司書との会話などで次のステップに離陸してもらえればな、と必死の毎日です。

見直した図書委員会活動、その後

さて2006年春、図書委員会の活動を大幅に見直したことを書きました。当番が面倒になって脱落していく生徒たち。そこでカウンター当番を廃止し、メインの活動は年度に1回の資料紹介に。他の活動を全員が関わる係活動とグループ活動（委員内外の有志による活動）に再編して生徒のやる気を育てるべく1年間委員会活動をサポートしつづけてきました。

でも、やはり思うようにはならないですね。資料紹介こそほとんどの生徒が関わってくれましたが、年1回の作業だけに展示のノウハウは積み重なりません。私も担当教諭も展示の指導に振り回される1年でした。係活動は例年通り次々と脱落されてしまい、最終的にはどの係も実働が半数以下という惨状。有志委員によるグループ活動は、主導する生徒が「やる気がなくなった」と責任を放棄。活動が継続できなくなりました。新年度の委員会をどう立て直すか、分掌では暗澹たる思いで話し合いました。

ところが新年度、あまり期待せず新年度の委員開きを迎えてみると、前年度に最後まできちんと係活動してくれた生徒はそのまま残ってくれました。しかも、その活動を手伝ってくれたような生徒たちも一緒に、です。おかげで係活動は、二・三年生に関して言えば昨年のような歯抜けはグッと減り、内容を継続できる素地ができました。展示も去年のノウハウが生きてきそうです。

個々の生徒の成長にも驚かされました。昨年度、他の生徒の展示に口出して邪魔をしているかに見えた生徒は自ら立候補して委員長になり、

読者の声

展示の目的やノウハウなど、委員全員の前の確に説明してくれました。また、委員の外から読書会に参加し続けてきた生徒は委員になることを断固拒否していたはずが、図書委員会に入って中断してしまった読書会を再会するために奔走してくれています。

この1年、働かない生徒、思い通りに動いていない様子が目が向いていたのかもしれませんが。中学校までリーダー格を経験したことがない生徒が多い勤務校。生徒は彼らの視野からできる範囲で、確実に図書館と一緒に育ててくれていたんですね。去年、私は「図書館に対して自発的に何かしたいという子が…みはらし図書館を育てるんだ、という意志を持ち始めている」などと偉そうなことを書きました。でも、その自発的な意志に本当に気づいたり、見つめたりできていなかったのは自分自身だったんだなあ。

冒頭で紹介した卒業生、彼女は3年間図書委員ではなかったものの、いつでも図書館づくりに協力してくれました。あのころは動いてくれる図書委員がごくわずかだったこともあって、逆に個々の図書委員と視座を共有しながら一緒に図書館を

作っていました。就職して10年。生徒たちと年の差は広がり、視座を共有することがだんだん難しくなってきているのかもしれませんが。

今年は意識的に、一緒に動いてくれる生徒と視座を共有してみようと思います。新しい1年が終わった頃、彼らと一緒に作る図書館はどんな姿をしているんだろう。

(みやざき けんたろう・埼玉県立新座高等学校)



■フランスの新しい大統領が決まりました。フランス国内や欧州・世界にも影響のあることでしょう。一昨年でしたか、次期大統領有力候補のひとり目されていた当時の首相が、政策上の失敗から大統領候補の道を閉ざされました。当時、この政策に再考を促す行動をいち早く起こしたのが高校生たちでした。彼らのアピールは大人たちの共感を喚起し、国内で大きなうねりを呼び、ついにフランス政府はこの政策を大幅に修正することになったのです。高校生の政治意識の高さに驚かされたものです。今回の大統領選挙の投票率の驚異的な高さとも無関係ではありません。高校生世代がまさしく社会の一員であると認識を改めた次第です。(栞)

DMかたろく

人物・遺産でさぐる

日本の歴史 (全16巻)

マンガじゃここまでわからない! 本心に歴史を学びたい子どもたちに贈る、信頼のロングセラー。

古川清行 / 著 揃定価42,000円 B5判 112~127頁 中学生~高校生向

文化遺産や人物の業績を、多彩なエピソードをまじえて紹介します。豊富な写真や絵、地図、グラフ、年表などで、生徒たちのさまざまな疑問・好奇心にこたえる必備のシリーズです。

ジュニア向け 本格的歴史の 決定版!



小峰書店

http://www.komineshoten.co.jp/ 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町4-15 TEL03-3357-3521

修学旅行で 行ってみたい 日本の世界遺産

倉部きよたか、清原 工、本田 純、鈴木しのぶ、清野賢司、原 靖一、本田 純、小松亮一 著



【全5巻】

NDC291

地理

A4変

各48頁

揃定価15,750円 (本体15,000円)

- ①日本の世界遺産1 知床、白神山、日光の社寺、平泉、鎌倉
- ②日本の世界遺産2 古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)
- ③日本の世界遺産3 古都奈良の文化財、法隆寺地域の仏教建造物
- ④日本の世界遺産4 白川郷・五箇山の合掌造り集落、紀伊山地の霊場と参詣道、姫路城、彦根城、石見銀山
- ⑤日本の世界遺産5 原爆ドーム、厳島神社、屋久島、琉球王国のグスク及び関連遺産群



岩崎書店

〒112-0005 東京都文京区水道1-9-2 TEL.03-3812-9131 http://www.iwasakishoten.co.jp

いま、よみがえる日本のこころ

百人一首大事典



978-4-251-07801-8

吉海直人(同志社女子大学教授)監修
豊富なビジュアル資料で、歌の内容、作者についてはもちろん、当時の風俗や歴史なども深く理解できます。また、かるたの歴史や遊び方についてもわかりやすく解説した、百人一首の決定版です!

A4判/143ページ/定価5,250円(税込)

あかね書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36 北神ビル2階
TEL.03-3263-0641 FAX.03-3263-5440
http://www.akaneshobo.co.jp/

ジュニア英語名作ライブラリー 2007

英語版 世界一大きなワードブックセット

英語版 世界の名作絵本シリーズ

英語版 アイ・スパイ・ミック!シリーズ

英語版 日本の名作絵本シリーズ

英語版 がまくんとかえるくんセット

英語版 ぐりとぐらセット

英語版 レダーボードのジュニアライブラリーシリーズ



株式会社 三善

〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-19
TEL.03-3398-9163 FAX.03-3398-9170

〒101-0047 東京都千代田区内神田一十三三十三
電話 03-3333-9381
http://www.yamakawaco.jp/

出荷期日6月20日

セット価格 本体89,300円

全47巻
全巻完結

世界遺産
高野山の歴史と秘宝
高野山霊宝館副館長 井筒 信隆 著
本体2,000円

好評発売中

高野山のあゆみと
信仰マンダラの世界をひもとく

新・国史大年表

全九巻・索引一巻
日置英剛 編

空前絶後の情報量!!
古代から現代まであらゆる分野を網羅した、
新しい時代の読む年表!!

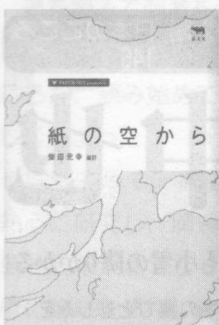
第一巻	一〇〇〇年	(古代・縄文から統一)
第二巻	一〇〇〇年	
第三巻	一五〇〇年	
第四巻	二五〇〇年	
第五巻	七〇〇年	
第六巻	一八五〇年	(明治維新・日清戦役)
第七巻	一九二〇年	
第八巻	一九六〇年	
第九巻	二〇一〇年	
索引巻	(最終配本)	

B5判・上製クロス装・函入・各巻約九〇〇頁・各二万〇〇〇円

*印・好評既刊

全巻予約受付中!!

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427【税込部】



柴田元幸 編訳

紙の空から

●2625円(税込)

当代一の翻訳家・柴田元幸さんが選んだ旅がテーマの短編小説集。14人の現代作家を、カラー挿絵付で紹介。

四六判上製336頁
全国書店にて好評発売中!

〈収録作家〉 ガイ・ダヴェンポート、ジュディ・パドニッツ、スティーヴン・ミルハウザー、ロジャー・バルバース、スチュアート・ダイベック、バリー・ユアグロー、マグナス・ミルズ、ロバート・クーヴァー、カズオ・イシグロ ほか。

晶文社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-12
電話 03-3255-4501
http://www.shobunsha.co.jp/

NO. 24

部落解放・人権図書目録

2007 A5判/126頁/頒価300円(税込)

●2006年11月までに刊行(予定も含む)されている書籍約1,150点を紹介。ISBNコード付。

項目

《部落問題》総記・事典/現状/運動/教育/行政/歴史/文化・思想

《人権》基本的人権/人権一般/性差別/他

部落解放・人権関係雑誌一覧

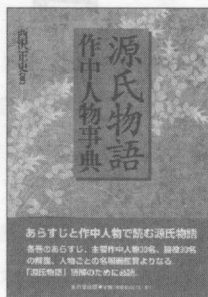
書名索引・著者索引・掲載出版社名簿

●書店様へご注文ください。

部落解放・人権図書目録刊行会

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内
TEL 03-3266-9521

限りなく広がる知識の世界
源氏物語作中人物事典



人物を通して
「源氏物語」の深い
世界を理解できる!

西沢正史編 各巻のあらすじと主要人物の位置・評価・特色・生き方・描かれ方など全体像がわかるように解説。
A5判 4,725円(税込)

●最新刊

東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
TEL03-3233-3741 <http://www.tokyodoshuppan.com>

図説科学の百科事典 全7巻既刊3冊 定価各6,825円
シリーズ海の動物百科 全5巻既刊2冊 定価各4,410円
海をさぐる 全3巻完結 定価各4,095円
生命と地球の進化アトラス 全3巻完結 定価各9,240円
図説人類の歴史 全10巻別巻2既刊8冊9回6月刊

07総合図書目録あります。ご請求下さい。

朝倉書店

東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 ☎03-3260-7631

発達と障害を考える本 第I・II期 AB判 各1890円

シリーズ累計
20万部突破!!



「もっと早く出会いたかった」
「こんな本を持っていた」
読者からの反響続々!

- ① 自閉症のおともたち
- ② アスペルガー症候群
- ③ 「高機能」のおともたち
- ④ 「自閉症」のおともたち
- ⑤ LD(学習障害)のおともたち
- ⑥ ADHD(注意欠陥・多動性障害)のおともたち
- ⑦ ダウン症のおともたち
- ⑧ 知的障害のおともたち
- ⑨ 身体障害のおともたち
- ⑩ 言語障害のおともたち

ミネルヴァ書房

京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 ※価格税込

隔月刊 国際交流が
つなぐ
彼方と此方
遠近
wochi kochi

2007年4・5月号
絶賛発売中!

16
をちこち
4月1日発行
定価525円(税込)

特集 **隣人、ロシア**
巻頭鼎談 **ロシア文化の新しい動きと
2度目の「日本文化ブーム」**
河東哲夫×沼野恭子×日下部陽介

人気推理作家にして日本文学者
ボリス・アクーニンに聞く——聞き手 沼野充義
アニメーション作家
ユリー・ナルシュテインに聞く——聞き手 児島宏子

テヘラン小景 島田雅彦
魯迅と村上春樹 藤井省三

○執筆陣 伊東豊雄/マイケル・エメリック/セルゲイ・スモリャコフ/小林真理 ほか

(発売) 山川出版社 TEL:03-3293-8131 FAX:03-3292-2994

(発行) 国際交流基金 (ジャパン・ファンデーション) www.jpf.go.jp/j/publish/_wochikochi/index.html

魂の詩人 別冊太陽 日本のこころ
146

中原中也

「汚れちまった悲しみに 今日も小雪の降りかかる」

生誕100年を迎える今年、若さの喜びと悲しみを
いちばん理解できる高校生に向けて、詩人の生涯
と作品を深くきわめる総力の特集。

A4変型判・160頁 定価2,310円(税込)

平凡社 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4
☎03-3818-0874 FAX:03-3818-0674

あおぞらの星

夜回り先生と考える

水谷 修/著

いじめ、善と悪、自由と不自由など、親や先生でもうまく語れないことを水谷先生ならではの視点からわかりやすく綴った初めての本。

●最新刊発売中!
四六判 1470円



日本評論社 豊島区南大塚3-12-4 ☎03-3987-8621
<http://www.nippyo.co.jp> FAX03-3987-8590